

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成31年3月15日(金) 13:30~15:10
- 2 開催場所 天草市港町9番1号 天草ケーブルネットワーク(株)会議室
- 3 出席委員 委員総数 8名
出席委員数 7名 欠席委員数 1名
出席委員の氏名 松下美奈子(委員長) / 古賀源一郎(副委員長) / 中川竹治
野上俊樹 / 明瀬実 / 山口誠治 / 原田竜一
欠席委員の氏名 永田章一
放送事業者側の出席者 代表取締役 馬場昭治 メディア事業部長 芥川琢哉
営業企画課長 藤川陽介 ラジオ制作課係長 脇坂公敏
オブザーバー 天草市秘書課広報広聴係係長 宮本諭
天草市秘書課広報広聴係参事 河本智
天草市情報政策課情報政策係主査 上原幸一

4 議題

- [1] 開会、委員長挨拶、社長挨拶
- [2] 報告事項
- [3] 番組聴取、審議
- [4] その他

5 議事の概要

[1] 松下委員長が開会宣言、委員長挨拶を行い、続いて代表取締役 馬場昭治の挨拶の後、直ちに議事に入った。

[2] 報告事項

ラジオ制作課 脇坂より、昨年末からの特別番組、送信所の開局状況、今後の予定、その他報告を行った。議長は報告事項について意見を求めた。

① 下田、崎津開局について

- ・今まで聞こえ難かった下田、崎津が開局したのは喜ばしい。ただ、天草にはまだ、聞こえてない所があるが今後の展開は？
- ・来年度、天草市御所浦町の鳥峠に送信所を新設する事を予算案に挙げ、市議会で審議する予定となっている。その他、深海町の六郎次山について検討を行っている。

② 天草弁ラジオ体操CD販売について

- ・著作権はクリアしているのか。
- ・【藤川】著作権については、クリア済みである。ラジオ体操第一はかんぼ生命、ラジオ体操第二はJASRACが権利をもっており、特殊なケースだった。
- ・複製不可の記載を記した方がよい。
- ・社会福祉協議会などで販売してもらってはいかがか。
- ・小中学校に配布したとの事だが、子供たちが天草弁のラジオ体操を聴く事はすばらしいと思う。

- ・天草弁を話す、広げるプライドが必要。沖縄は自分たちの言葉に対する思い入れが強い。それだけ郷土愛が強いという事だ。天草もそうなって欲しい。
 - ・子供たちに天草弁を話すなという若い母親もいる。地域プライドを育むためにもどんどん広げて欲しい。
- ③ 天草各地の情報収集について
- ・事故による渋滞情報はとても良い。現在の体制はどうなっているのか。
 - ・【芥川】まずはリスナーから情報が送られてくる。情報の確認のため、警察に確認をとってから放送をしている。
 - ・警察に確認してからだとレスポンスが遅い。各地域に特派員のような情報を提供してくれる人が必要。主要幹線沿いの商店、企業などにその時の情報をもらえる体制づくりが必要。営業担当が外に回る時、その地区のキーマンを特派員にしていくような活動をして欲しい。
- ④ アプリの災害時の位置情報機能について
- ・アプリの災害時の位置情報機能はどこまで使えるのか。
 - ・【脇坂】災害時、アプリの画面が災害モードになり、位置情報送信の画面が現れる。緊急要請が送られた場合、WEB上のみつばちラジオの管理画面で緊急メッセージと位置が確認できる。報告の通りアプリのダウンロード数が12,000件を超えており、今後はこの管理画面を市、消防、警察と共有する体制を作りたい。
 - ・消防団などにも、その機能のデモができると、なおアプリの活用が広がる。

[3] 番組聴収、審議

○3月1日（金）はちさんラジオ

○2月28日（木）はちラジ情報ステーション

- ・この3人はコアな人たちで、SNS世代を強く感じる。メッセージが多く届くが、世代間格差もあるので全ての世代から、聴いてもらっているとは限らない。慢心せず、頑張っって欲しい。
- ・リスナーからのお悩み相談にはあたたかい目線で回答している。今後、スマホ中毒の抑制やオレオレ詐欺の注意喚起など、社会に貢献できる内容も盛り込んで欲しい。
- ・先生が言っても聞いてくれない事も、この3人が言うと若い人が耳を傾ける。こういった社会への貢献もお願いしたい。警察に表彰されるくらいになればなお良い。
- ・以前、天草ケーブルネットワーク(株)のインターネットが回線中断し、メールを受ける事ができない事があった。こういった時こそ、FAX番号を連呼し、FAXでメッセージをもらう事も勧めればよかったのでは。
- ・FAX、葉書でメッセージを貰う努力をすれば、新しいリスナーを獲得できるのでは。メールを送れない高齢者からもメッセージが届くのでは。
- ・高齢者の為にも、葉書の送り先、FAX番号は2度繰り返して告知して欲しい。2度繰り返す事により、情報弱者の方からもメッセージを貰える。

[4] その他

- ・1年目は許容範囲が広がったリスナーからも厳しい意見が出るようになった。リスナーが離れていったかもしれない。番組の制作の中身がパーソナリティ本意になり、ラジオの作り手のコンセプト、主旨がぼやけてきている。ラジオ局の大きな柱のコンセプトがないのでパーソナリティによって不安定になっている。朝、昼、夕とラジオ局が決めた上で、パーソナリティを活かす事が必要なのではないか。制作サイドの想いを乗せて番組を作る必要がある。また、一軍と言えない人もパーソナリティとして使われているが、クオリティを高く持っていかなくてはならない。リスナーに失礼である。もし、必要ならば誰かプロを雇ってでもやるべきではないのか。
- ・確かに未熟なパーソナリティもいる。未熟な人に未熟な人を付けている。ベテランを付けるべきでは。3秒以上の空白ができる時があり、ハラハラする。
- ・朝もきつくなった。30分伸びたが、情報量満載ならばいいが、単なる時間が伸びただけで作り手側はきつくなった。河口さんはとても良いが、朝の番組で恋人相談が必要だろうか。情報を伝えたいのなら朝は淡々と迎えたほうが、そして河口さんは違うところで使った方が良いのでは。
- ・朝、昼、夕の番組のコンセプトを聞かせて欲しい。
- ・【芥川】朝は一日の始まりなので情報を、特に天草の情報を詰め込んでいる。天草のリスナーは車で出勤している人が多く、8時に現場に行く人たちは6時30分から出勤している人が多い。前回の番組審議委員会も踏まえ、6時30分を番組開始にしている。また、朝からは元気になれる、元気をもらえるパーソナリティが必要と考えている。昼は聴く事ができる人が限られるので、家庭の主婦、昼休み職場で聴いている人をターゲットにしている。ランチや給食などお昼にまつわる話題を提供している。40代から上のリスナーが興味を持つような話題も提供している。夕方はパーソナリティの個性を活かし、それぞれのカラーを出して番組を持ってもらっている。土日は朝9時から12時まで天草島民のお出かけ情報、旅行者へのイベント情報、天気、交通を届けている。またイベント会場からの電話レポートなども積極的に流している。
- ・朝の声は、女性で元気があり心地よい。未熟な人はアナウンス力の向上が必要。
- ・大工さんが聴いてくれている。感触では、8割ぐらいはみつばちラジオを現場で聴いてくれている。
- ・パーソナリティを出向させ、勉強させるのはいかがか。
- ・クオリティも大切だが、コミュニティラジオは市民参加型のラジオ局である。馬場社長が常に口にしている、市民一人一人が年に一度は出演するラジオを目指して欲しい。
- ・リスナーの声を拾う事が必要。メッセージを出して読まれた時の喜びを多くの人に体験して欲しい。
- ・昼の番組は時間があるので、呼べるゲストを毎回呼び込めばよいのでは。

- ・月曜日の昼の担当には、池田さんをサポートにつければよいのでは。二人とも未熟なので会話がかみ合わない。
- ・【馬場社長】ラジオの中継車を市と相談しながら進めている。災害時はもちろん、普段の放送にも活用できるようにしたい。
- ・天草市内の高校が定員割れをしている。とある学校の教頭先生から、みつばちラジオで各学校それぞれの良さが分かる番組を作ってもらえないだろうかとの提案を戴いた。高校進学時に天草島外の高校に入学するケースも多くあり、天草島内の先生達は非常に危機感を募らせている。ぜひお願いしたい。

以上、すべての審議が終わり、松下委員長は閉会の辞を述べ、委員会は終了した。

- (1) 審議機関の答申または意見の概要の公表
公表の方法 自社ホームページ（4月予定） <http://www.acn-tv.ne.jp/>

以上